

フエnderアンプの設計ポリシー
フエnderは最先端アンプの基本的な
回路設計は、ほとんど変更されてい
ませんが、過去30年間に各種の機
能が加わりました。キーの演奏ス
タイルの変化に伴い出力を調整する
必要がありました。又、音質の多様
性が必要となり、より高度なトーン
コントロール、並びにイコライズ
が回路に付け加えられました。あら
ゆるボリュームレベルで真空管エ
レクションが得られるフエnder機

自のマスターボリューム回路の開発
と共に、更に録音技術の進歩に対応
するため、レコーディング・アクト
ビリティも増設されました。
このように発展経路を続けているに
かかわらず、フエnderアンプの基
本的性格は、変わっていません。
今でも愛嬌あふれる音質、信頼性をセ
ットに生産されています。かつて
のフエnderアンプが今日において
も愛用されるように、今日のフエ
nderアンプも明日の名産なのです。

信頼の歴史ある回路設計
常に工業的に、ワーク量削減される
フエnderアンプの一見シンプルな
シェーリングの下には、何世代もシ
ェンに関する知識が結集されています。
大抵のものから小さいものまで、数
多のリエーションは、それぞれ
の性格をそなえ、その一各自が個
性にお答えます。

高品質と耐久性のあるパーツ機能
多くのフエnderは、高い品質の
パーツを使用していることを強調し
ますが、フエnderは、品質が良い
だけでは、不足をともなっています。
フエnderのコンピュータ用
部品は、高品質のオーディオコン
ポーネンツから大型トランス、あつしりたマイ

ズスリウムスイッチにいたる
まで、フエnderアンプのどの部品
も年々、機能が低下することなく
作動しなげればならないのです。
パーツの品質と同様に、耐久性と重
要な要素であるフエnderアンプの作
動させる必要のある部品は、真空管
だけという理由はこのにあるのです。
バランスのとれた専用真空管

最早にわたり、フエnderは、オー
ディオ用真空管の世界最大の買手で
す。それだけに最新メーカーの
技術情報は深く、互いに知り、よ
り品質の高い、そして性能の一定
した真空管の製作を行っています。
仮に、出力管をすべて交換できない
場合でも、フエnderアンプには、
真空管のバランスを調整するユニ

アマンプがジャスターが付いて
います。
独特のトーンコントロール
どのメーカーも今では、家庭用ア
ンプにベース・ミドル・トゥール
プレイトスイッチをつけるようにな
り、これらのトーンコントロールの
制御はほとんど負ってはいはどフ
エnderのアイデアです。

制御のイコライズアンプのトーン
コントロールのように、音を余儀に
たりかし調整するものをそのまま
採用するのは、フエnder
では常識とアンプのコンピエー
ションサウンドをすばやく電化させ
るトーンコントロールを開発し、エ
レクションの可能性をさらに拡げま
した。フエnderアンプには「ワラ



28

ト」をセッティングはありません。
必要がなく、又好ましくもないか
らです。

現在、いくつかのモデルには、プ
ル／ブーが各レンジに備わり、更
に新しいドラマチックな音が可能
としています。

時代を超えて、フエnderハイパー
カントリー風のエキセントリックな
サウンドまで、フエnderは、現代の音楽に欠
かせぬ要素となっています。その機
能をフルアップし出して使えば、60年
代初期のあのサーフィン（ハウ
ン）ギターに代表されるサウンドが
得られ、このハイパー音こそが今
でも最も人気があり、数多くのモデル
に影響を及ぼした効果音なのです。
多量スプリングアレイユニット、ト
ランスプルーサー、真空管ドライブ
フィードバック回路などの組み合わせ
により、驚くべき音質が自由にコン
ロールできます。

チューブデスティーションは
マスターボリュームのアイデア
このフエnderの発明により、ア
ンプを最大出力にすることなしに自然



なデスティーションとセッティングが
得られるようになりました。リア
アンプのボリュームをフルにセットし
て、マスターボリュームを操作すれ
ば、ナチュラルなニューブデスティ
ーションが小さな音量でも発揮する
ことができます。

アウツセリ端子
エフェクターの入出力接続は、セ
グメント、その他のエフェクターを、S
／N比の良い状態でつなぐことが
できます。また録音用出力は、パワ
アンプ回路の特性を生かすため、メ
インアンプの出力に直結されていま
す。

楽器専用スピーカーの研究

フエnderは、過去30年を、あら
ゆる楽器用スピーカー製造に密着に
従事し、スピーカーの研究を進めて
きました。その結果、どんなに良
いスピーカーでも、すべてのプレーヤ
を満足させることはできないとい
う一つの結論に達しました。スピー
カーのサイズをはじめ、プランジを
各種そろえてるのはそのためです。
フエnder独自のスピーカーに加え
、フエnderアンプのほとんどが、
エレクトロニクス又は、JBLスピー
カーのマトリクスが可能です。
ピュートンタイプ、そしてセパ
レートタイプのキャビネットにして
も、フエnderの多くの経験が生か
れた各種スピーカーが、あなたの探し
求めているサウンドの実現をお願
いたします。

ヘビータウン
キャビネット構造

最近では、どのメーカーも生産性を
高めるためにコストダウンに、専
念をなしていますが、フエnder
はアンプとスピーカーのキャビネット
構造に新しい改善を加えました。
ピュートンタイプは頑丈な材料を使用
、横側はしっかりとしたボックス
ジョイント、そして重量のかかる角

には、更に外側にメタルで補強して
あります。スピーカーのバブルは
13層の強度の高いインソレーション
のペーパーを使用しています。
ペーパー用フレックススピーカーエ
レクターは、高密度使用に合

内装には強度を高め、よけいな振動
をおさえるための支柱が組み込ま
れています。

これらが強化ビニールで覆われ
ており、最もヘビータウンな
キャビネット設計といえます。

